

地域の新しい移動のあり方について考えよう！



2019年1月から3月にかけて実施した「郊外住宅地における地域移動の社会実験」の活動報告に加え、これからの地域の新しい移動のあり方について参加者の皆さまで考えたいと思います。どなたでもご参加いただけますので、皆さまのお越しをお待ちしております。

- ▶ **日程** 2019年6月23日(日)
- ▶ **時間** 10:00~12:30 (受付 9:30~)
- ▶ **場所** WISE Living Lab さんかく BASE 共創スペース
横浜市青葉区美しが丘2丁目23番地1,3
<http://sankaku-base.style/#indexMap>
- ▶ **定員** 30名
- ▶ **参加費** 無料
- ▶ **参加方法** 事前申込制
下記メールアドレスに、お名前、ご連絡先をご記入の上、ご連絡ください。
info.sankakubase@gmail.com



<プログラム>

- 9:30~ 受付開始
- 10:00~10:10 次世代郊外まちづくりで考える地域の移動のあり方
- 10:10~10:50 2018年度社会実験の報告(横浜市/東急電鉄)
- 10:50~12:00 ワークショップ ~地域の新しい移動のあり方について考えよう！
- 12:00~12:20 全体共有/まとめ



WISE CITY

WELLNESS & WALKABLE
INTELLIGENCE & ICT
SMART・SUSTAINABLE & SAFETY
ECOLOGY・ENERGY & ECONOMY

2019年6月発行

編集・発行

横浜市・東京急行電鉄株式会社

[連絡先] 横浜市建築局住宅再生課

☎045-671-4083

次世代郊外まちづくり通信

vol.28

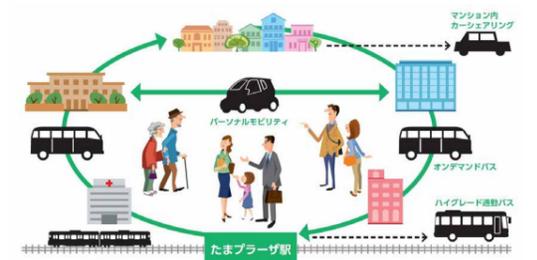
次世代郊外まちづくり通信は、「次世代郊外まちづくり」のさまざまな活動をお知らせし、地域の皆さまをはじめとして多くの方々を知ってもらうためのニュースです。



郊外住宅地における地域移動の社会実験の活動報告

2019年1月~3月 実験実施

次世代郊外まちづくりでは、地域内を移動しやすくなることで外出の機会が生まれ、コミュニティ形成を促進することで健康で元気に暮らし続けるまちづくりを目指し、移動の社会実験を実施しました。



実験①ハイグレード通勤バス

期間：1月24日~3月20日 (平日のみ)

「たまプラーザ駅付近」から「渋谷駅付近」行きの通勤シャトルバスを、平日の朝ラッシュ時間帯に運行。新しい通勤手段としての快適性や商品性の評価を行いました。



実験②オンデマンドバス

期間：1月23日~3月20日 (平日のみ)

美しが丘1・2・3丁目にて利用者のニーズに合わせて走行するオンデマンドバスを運行。スマートフォンによる予約システムや予約状況に応じたルート選択など、管理画面等の技術検証や利用形態把握を行いました。



実験③パーソナルモビリティ

期間：2月20日~3月20日 (平日のみ)

青葉区内にてパーソナルモビリティの実験を実施。モニターの方に前日までにご予約いただき、時間単位で貸出し。新しい使い方やラストワンマイル・モビリティの可能性を検証しました。



2019年3月 アンケート調査実施

* 詳細は中面をご覧ください！

実験実施後、モニターとしてご参加いただいた方にWEB・ヒヤリング調査を実施しました。

● WEB調査 期間：3月20日~31日 回答数：40件

● ヒヤリング調査(協力：東京都市大学 西山敏樹准教授)

期間：3月17日、19日 参加者：15名(ハイグレード通勤バス3名、オンデマンドバス12名)

ハイグレード通勤バス

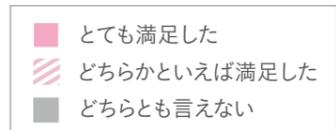
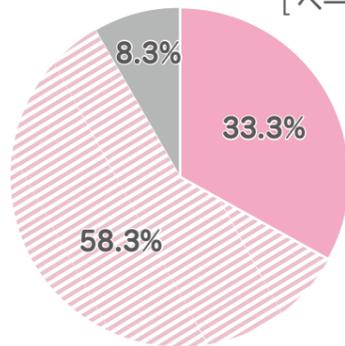
● 実施データ

モニター参加者	24名	20~30代：10名、40代：8名、50代：6名
運行日数	39日	1日平均乗車数 13.7名 平均所要時間 1時間17分

● WEB 調査結果

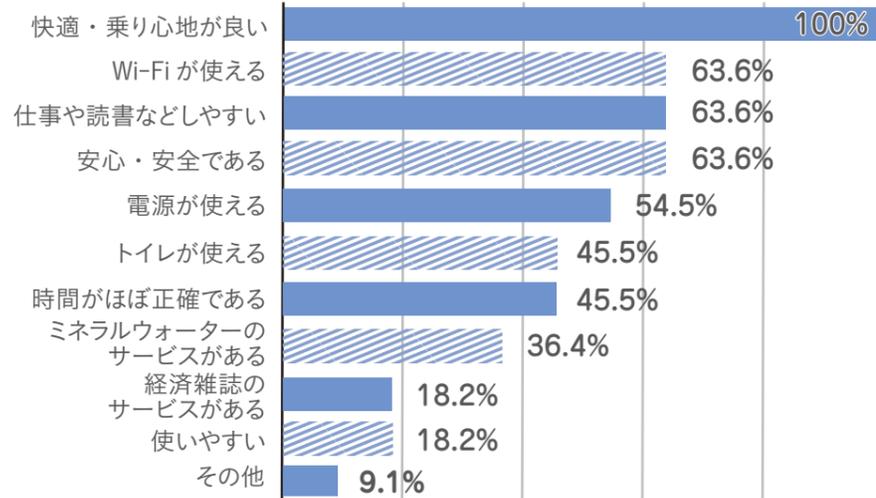
Q 本サービスをどのように評価しますか？

[ベース人数：12名]



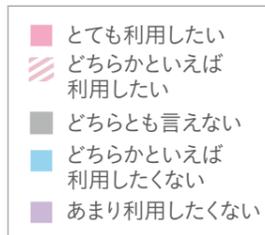
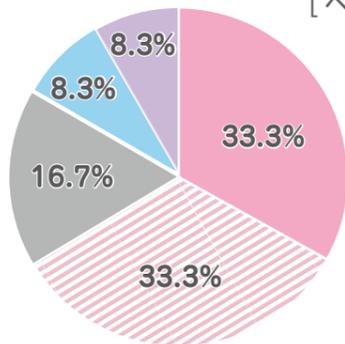
< 本サービスの評価の理由 (複数回答) >

[ベース人数：11名]



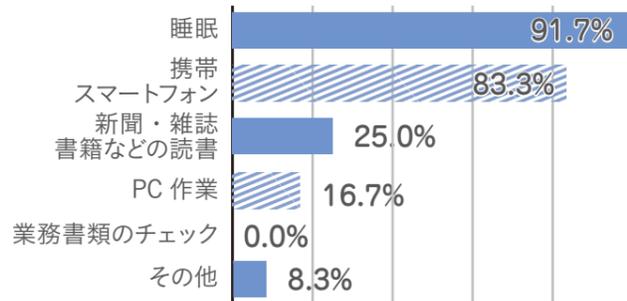
Q 本サービスが実現した場合、利用しますか？

[ベース人数：12名]



Q 車内でどのように過ごしましたか？ (複数回答)

[ベース人数：12名]



電車で通常20分程度かかるたまプラーザ駅から渋谷駅間を、本実験では平均1時間20分程かかりました。それでもモニター参加者の方の満足度は高く、今後の利用について前向きな意見が多く聞かれました。「働き方」が見直される中、フレックスなどの通勤時間の自由度が増していくことで、さらなる需要やニーズが生まれるのではと考えます。

パーソナルモビリティ

● 実施データ

モニター参加者	14名	利用回数	8回
---------	-----	------	----

< モニター参加者からの声 >

- ・ちょっと外出するだけなら気軽に乗って楽しい。
- ・駐車スペースも少なく済むので、環境的にも優れている。車両もカッコ良い。家で充電できるのも便利。

全体的に高評価の意見が多く、外出のしやすさの向上に寄与する可能性は高いと思われます。ご夫婦でのドライブ、知り合いと同乗するなど、2名乗車をフルに活用されている方も見受けられました。

オンデマンドバス

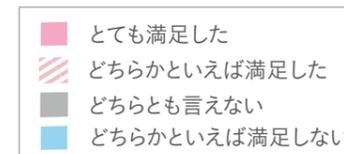
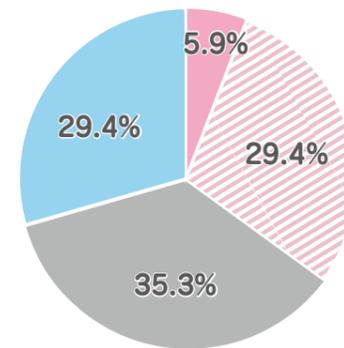
● 実施データ

モニター参加者	100名	20~30代：20名、40代：28名、50代：21名、60代：19名、70代：11名、80代以上：1名
延べ利用者数	153名	1日平均乗車数 3.8名

● WEB 調査結果

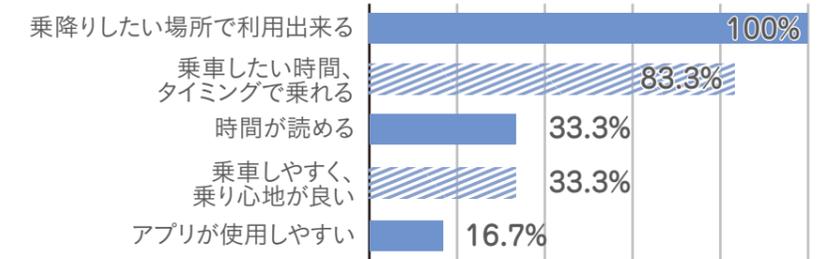
Q 本サービスをどのように評価しますか？

[ベース人数：17名]



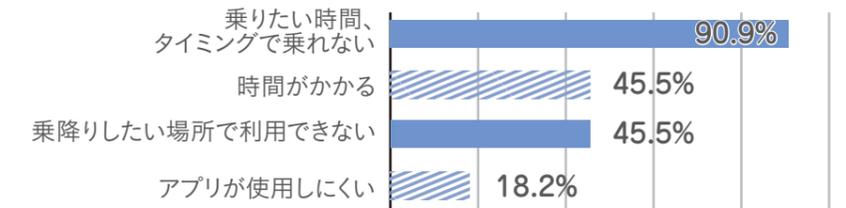
< 「とても満足した」「どちらかといえば満足した」の評価の理由 (複数回答) >

[ベース人数：6名]



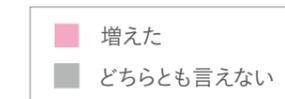
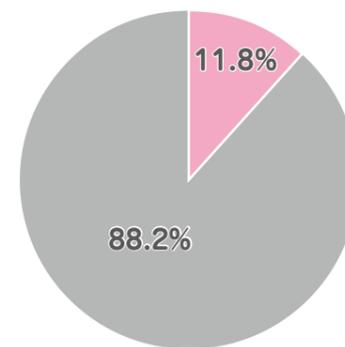
< 「どちらとも言えない」「どちらかといえば満足しない」の評価の理由 (複数回答) >

[ベース人数：11名]



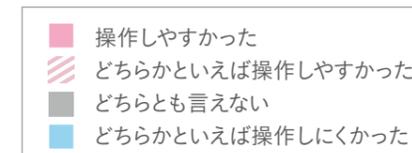
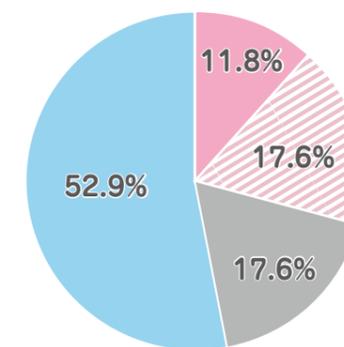
Q 本サービスの利用によって、外出頻度は変化しましたか？

[ベース人数：17名]



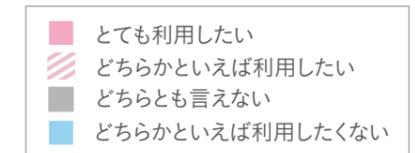
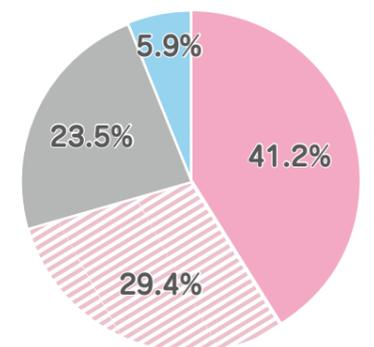
Q 予約アプリは操作しやすかったですか？

[ベース人数：17名]



Q 本サービスが実現した場合、利用しますか？

[ベース人数：17名]



坂道の多い地域であるため、一定のニーズがあり、外出促進につながる事がわかりました。予約アプリの技術検証を通じて、予約方法や運行時間帯・運行ルートなど改善点が見えたものの、今後の利用について前向きな意見が多く見られました。

詳細は「次世代郊外まちづくり」HPにてご覧ください
<http://jisedaikogai.jp/>